

少数台数のリコール届出の公表について（平成25年9月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成25年9月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月 5日	外1959	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：DBA-176042 通称名：A 1 8 0	5	平成24年12月 8日～ 平成25年 3月15日
不具合の部位等	助手席側ダッシュボードの加工作業が不適切なため、エアバッグシステムが衝突を検知して作動した際、エアバッグが適切に展開できないものがある。また、エアバッグ展開時に想定外のダッシュボード破損が起き、最悪の場合、破損したダッシュボードにより乗員が怪我を負うおそれがある。			

2. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
9月12日	3224	車 名：コマツ 型 式：HV3000 他 通称名：H V 3 0 0 0 - 1 他	5 6	平成12年 7月13日～ 平成20年12月10日
不具合の部位等	異常発生時に電気回路の通電を遮断するサーキットブレーカにおいて、ケーブル端子の組立指示が不適切なため、当該端子を曲げて組付けたものがある。そのため、その状態で使用を続けると、端子部分が発熱し、最悪の場合、サーキットブレーカが電気回路の通電を遮断して走行不能になるおそれがある。			

3. 届出者：株式会社栄秋

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
9月20日	外1958	車 名：アディバ 型 式：ECJAA 通称名：C A R G 0 3	3 0	平成23年 4月20日～ 平成23年 5月12日
不具合の部位等	駐車ブレーキ操作レバー内部において、ワイヤーとボルトの溶接が不適切なため、駐車ブレーキ操作を繰り返すと溶接が剥がれて駐車ブレーキが作動しない可能性がある。			

4. 届出者：株式会社トーヨートレーラー

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月26日	3228	車名：トーヨー 型式：TT22DA 他 通称名：タンクセミトレーラ 他	39	平成17年12月1日～ 平成21年4月16日
不具合の部位等	スタビライザ・アームの熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スタビライザ・アームが折損し、走行安定性が損なわれ、走行できなくなるおそれがある。			

5. 届出者：三菱ふそう・トラックバス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月26日	3231	車名：三菱 型式：PDG-BE63DE 他 通称名：ふそうローザ	10	平成20年2月11日～ 平成22年9月29日
不具合の部位等	小型バスの自動変速機において、クラッチ構成部品を固定するスナップリングの装着部の機械加工が不適切なため、スナップリングが外れ、クラッチでのトルク伝達ができなくなり、走行不能となるおそれがある。			

6. 届出者：ゼネラルモーターズ・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月26日	外1953	車名：キャデラック 型式：ABA-T166C 通称名：SRX	86	平成24年9月4日～ 平成25年4月14日
不具合の部位等	18インチホイール装着車において、ラグナットの再取り付け等をしていない場合、ラグナットのコーティングによる緩み防止効果が十分に発揮されず、ラグナットが緩み異音が発生するものがある。異音を無視して使用を続けた場合、ステアリングの振れが発生し、最悪の場合、ホイールスタッドボルトが折れ、事故につながる恐れがある。			

7. 届出者：株式会社トーヨートレーラー

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月26日	外1965	車名：THT 他 型式：不明 通称名：セミトレーラ	29	平成16年9月14日～ 平成18年11月8日
不具合の部位等	スタビライザ・アームの熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スタビライザ・アームが折損し、走行安定性が損なわれ、走行できなくなるおそれがある。			

8. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月27日	3234	車名：いすゞ 型式：PDG-FVR34U2改 他 通称名：フォワード	8	平成20年10月10日～ 平成22年11月30日
不具合の部位等	ダブルキャブ仕様に改造した車両において、キャブフロアに装着した遮音材の取付け方法が不適切なため、走行中の冷却風により当該遮音材が垂れ下がり、EGRクーラーと接触する場合がある。そのため、接触した遮音材が高熱となり焼損するおそれがある。			

【参考】

●平成25年9月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	22件 (+13)	18件 (+14)	4件 (-1)
輸入車	10件 (+4)	6件 (+4)	4件 (0)
計	32件 (+17)	24件 (+18)	8件 (-1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成25年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	18(+4)	7(-8)	25(-4)	1,023,922(+941,706)	7,500(-47,380)	1,031,422(+894,326)
5	8(-7)	13(+4)	21(-3)	270,667(-62,692)	118,690(+102,403)	389,357(+39,711)
6	23(+8)	9(+2)	32(+10)	705,638(+437,617)	4,332(+3,282)	709,970(+440,899)
7	16(-29)	10(+3)	26(-26)	1,088,311(+682,336)	14,657(+14,524)	1,102,968(+696,860)
8	13(-1)	4(0)	17(-1)	5,337(-32,629)	910(-468)	6,247(-33,097)
9	22(+13)	10(+4)	32(+17)	1,920,523(+1,898,584)	2,535(+1,377)	1,923,058(+1,899,961)
小計	100(-12)	53(+5)	153(-7)	5,014,398(+3,864,922)	148,624(+73,738)	5,163,022(+3,938,660)

※ () 内は、対前年比